開講学期	通年	曜日・講時	集中	時間割番号	21S4100
科目分野	専門教育科目				
選必区分	必修				
科目名	系統別病態診断[PBL-tutorial hybrid course]				
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ					
担当教員	原田 雅史, 八木 秀介, 医学部教員 [Masashi Harada,Shusuke Yagi, Faculty of the School of Medicine]				
実務経験					
単位数		対象学生・年次	3年、4年		

授業の目的

学ぶべき医学の情報量は爆発的に増大し絶えず更新されているが，従来型の教授方式では物理的，人的に限界がある。また，医師は生涯にわたり最新の医学的知識と技能を習得し続け，それをもとに医療活動を行うことが求められている。そのためには自発的・能動的な学習態度を修得するとともに自ら問題点を発見し解決できる能力を身につける必要がある。 こうした状況に対応し，学生の自主的な勉学意欲を育て，問題解決型の教育システムの効率的な運用を図るためにはPBLチュートリアル教育と臓器疾患別講義を併用する方式(チュートリアル・ハイブリッド教育方式)を行う。 本科目においては，学生全員が当事者意識をもち，学び方を学び，使える知識を得ることを目指しており，「もらった知識より自分で得た知識」がモットーである。また，グループ学習と学習成果の発表によりコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上も目的としている。

授業の概要

下記の12コース(授業細目)で構成され，各コースはPBLチュートリアル授業による少人数グループの自学自習教育(症例に基づく問題解決型教育方式)および臓器疾患別講義による伝授型座学教育の2つの方式を併用する方式で実施する。

授業細目	授業担当責任者(シラバス補足資料参照)
臨床医学入門コース	コース責任者
循環器コース	コース責任者
呼吸器コース	コース責任者
アレルギー・自己免疫コース	コース責任者
皮膚・感覚器コース	コース責任者
消化器コース	コース責任者
血液コース	コース責任者
内分泌・代謝コース	コース責任者
腎・尿路・男性生殖器コース	コース責任者
周産期・小児・女性生殖器コース	コース責任者
運動器コース	コース責任者
神経・精神・行動コース	コース責任者

キーワード

PBL チュートリアル、問題基盤型学習

到達目標

本科目が目指す卒業時コンピテンス・コンピテンシーの到達レベルについては、シラバス補足資料に掲載している専門科目マイルストーン表を参照すること。

・症例の情報を把握して問題点を発見することができる。

・臨床推論を含め、症例の問題点を解決することができる。

・プレゼンテーションとコミュニケーションに基づく他者との対話と協働作業を通して，症例の問題解決を行うことができる。

・症例の問題点を解決するために自分が知るべきことを抽出し，それに基づいて学習課題を立て，医学知識を自発的に学ぶことができる。

・自らの学修について省察を行い，継続的に改善することができる。

・基礎医学と臨床医学が有機的に連関した医学知識を習得し，応用することができる。

授業の計画

3年次12月～3月，4年次4月～9月に行われる。授業スケジュールの詳細は「徳島大学キャンパス支援システムースケジュール」に掲示する。全体のスケジュール概要は，系統別病態診断シラバス補足資料 ((医学部教育支援センターホームページ「PBLチュートリア

ル」に掲載）の「系統別病態診断，臨床実習入門日程表」を参照すること。

PBLチュートリアル授業では，症例シナリオを通して自ら問題点を発見し，学習課題を立て，医学知識を自発的に学ぶとともに（1. 倫理とプロフェッナリズム），臨床推論を含めた問題解決能力を身につける。チューターが加わるPBLチュートリアル（コアタイム）は週に3回（各90分）あり，その具体的方法は系統別病態診断シラバス補足資料（（医学部教育支援センターホームページ「PBLチュートリアル」に掲載）の「PBLチュートリアルコアタイムの具体的内容」，「司会ガイド」，「書記ガイド」，「副書記ガイド」に示す。各週で異なる課題（テーマ）を扱うが，自己学習能力や問題解決能力の習得が目的であるため，すべての疾患を網羅するものではない。

臓器疾患別講義では，それぞれの臓器疾患を診療科の枠組みを超えた共通の病態として学び，PBL チュートリアル授業での知識を充実させ，その不足分を補い，基礎医学と臨床医学が有機的に連関した医学知識を習得する。臓器疾患別講義は関連する分野が協力して実施し，その内容は，並行して行う PBL チュートリアル授業の課題に関連した領域を含め，それぞれのコースにおいて学生が修得すべき到達目標を意識した内容になっている。ただし，PBL チュートリアルは問題解決に基づく自己決定型学習が基本であるため，臓器疾患別講義において，その解答を提示するものではない。

教科書

各コースの授業概要（シラバス）に記載

参考書

各コースの授業概要（シラバス）に記載

成績評価方法・基準

系統別病態診断での評価は，コース試験の成績とPBLチュートリアルにおけるチューター評価の評価点（グループ討論への参加，課題に関する自己学習成果とその発表などが評価の対象となる）等で総合的に判定される。自学自習が原則であるため，各コースの学習目標については，PBLチュートリアルや臓器疾患別講義において講義が実施されていなくても，試験の出題範囲に含まれる。成績評価方法と基準の詳細は，系統別病態診断シラバス補足資料（（医学部教育支援センターホームページ「PBLチュートリアル」に掲載）の「徳島大学医学部における進級要件に関する細則」、「医学科系統別病態診断の学生の成績評価に関する申合せ」、「チューターによる評価基準」に示す。

学習課題シートはコアタイムでの成果を示し，また，学生によるシナリオ事例およびコースの評価は学修の振り返りであるため，これらのシステムへの入力は単位認定に必須とする（臨床医学入門コースは学習課題シートのシステムへの入力のみ）。系統別病態診断シラバス補足資料（（医学部教育支援センターホームページ「PBLチュートリアル」に掲載）の「学習課題シート」，「系統別病態診断 学生による評価」を参照のこと。

再試験の有無

本試験に不合格の場合は再試験を行うが、その合否は総合判定で行う。詳細は系統別病態診断シラバス補足資料（（医学部教育支援センターホームページ「PBL チュートリアル」に掲載）の「医学科系統別病態診断の学生の成績評価に関する申合せ（学生通知用）」を参照のこと。

受講者へのメッセージ

知識と与えてもらうのではなく，自ら学び修得する学修姿勢で臨んでください。

実務経験及びその内容

本科目では、徳島大学病院ならびにその関連医療機関で医師としての実務経験を有する教員が中心となって、臨床経験に基づいた授業を実施する。

WEB ページ	https://www.tokushima-u.ac.jp/scme/curriculum/pbl.html
連絡先（E メールアドレス，オフィスアワー）	（学生用連絡先） 医学部学務課第一教務係（088-633-7029，内線 2131） （メールアドレス） 医学部教育支援センターホームページ「PBL チュートリアル」に掲載する「系統別病態診断シラバス補足資料」を参照のこと。 （オフィスアワー） 講義、実習、診療、会議、出張などがあるため、事前にアポイントメントを取ることが必要です。医学部学務課第一教務係（088-633-7029，内線 2131）に連絡・相談してください。
備考	